

「京田辺市次世代育成支援行動計画」(平成22年度)に係る成果と課題

1. 後期計画事業について

後期計画は平成22年度から26年度の計画で、平成22年度は、進捗管理をする初年度となる。

基本理念の実現に向けて、3つの基本目標、8つの施策目標を定め、38の基本施策分野で164事業を展開している。(詳細は、資料1：事業群別22年度の実績表を参照)

その中で、新規事業()が5、拡充事業()が26ある。新規事業は、3事業、拡充事業は10事業が22年度中に取り組みられた。
(詳細は、資料2：新規・拡充事業一覧表(実績・評価)を参照)

2. 成果

この計画における、基本目標ごとの主要な成果は、以下の通りである。

基本目標1 「子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり」

この分野では、「親(保護者)の支援」として、通常保育や延長保育、幼稚園教育等基本となる事業を確実に実施し、その上で、子育てをするすべての人を対象とした子育て支援事業、社会教育事業等を展開してきた。

新規事業

1. 京田辺市健康増進計画の策定及び実施
2. 京田辺市食育推進計画の策定及び実施

拡充事業

4. 子どもの医療費の助成
5. 児童虐待防止のパンフレットの配布
6. 子育てひろば事業の実施
8. 子育てひろばからの情報発信
13. 松井ヶ丘保育園移転整備工事に対して補助金交付
14. 放課後子どもプラン
15. 第2次京田辺市男女共同参画計画の策定と事業の推進

* 計画外事業

1. ヒブ・小児肺炎球菌予防接種に対する費用助成事業
2. 子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業

基本目標2 「子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり」

この分野では、「子ども支援」として、子育てに伴う経済的支援として、子ども手当の支給、子育て支援医療費助成制度の対象者拡大や児童扶養手当の対象が父子家庭に拡大するなど、子どもを健全に育成するための環境づくりの事業を進めてきた。

特に、後期計画で新たに施策目標にあげた「子どもの虐待防止の推進」の施策の充実が図られた。

新規事業

- 4．子ども手当

拡充事業

- 4．子どもの医療費の助成
- 5．児童虐待防止のパンフレットの配布
- 19．児童扶養手当

基本目標3 「子どもが安心して暮らし、育つことのできる環境づくり」

この分野では、「親・子どもを取り巻く環境整備」として、地域における世代間交流や、仲間作りの支援がすすみ、公園等の整備等が進められた。

親や子どもたちの安心・安全の生活環境の確保のための取り組みが、様々な分野で進められた。

拡充事業

- 21．都市計画マスタープランの改訂
- 25．公園里親制度（アダプト制度）の普及

3．課題

- 1) 都市化、核家族化の進行に伴い、地域や家庭の子育て力が低下してきている。特に、子育て中の母親の子育てに対する不安感、負担感の増大の解消のため、児童虐待防止・安全・防犯面も含めて、地域全体で子育てを支援し、見守っていく体制づくりが求められている。
- 2) 次代の親となる子どもの健やかな成長のための取り組みを、系統的に継続的にすすめる体制整備が重要である。